

静止画の作成1

担当: 佐藤

計算機実習III

第1回: 演習課題



sato@ise.aoyama.ac.jp

2019/4/9



課題の提出方法

提出先: CoursePowerの該当する提出窓口

● 提出物

- ▶ 完成した個々の課題のスケッチフォルダをまとめたzipファイル
- ▶ スケッチフォルダ名: **xyyyyyyyy_zz_ww**
 - x: 自分の青山メールの最初の文字
 - yyyyyyy: 自分の青山メールの2文字目以降の数字の並び
 - zz: 講義回
 - ww: 課題番号
 - (例)青山メールのアドレスが「a1234567@aoyama.jp」の場合の第1回の課題1のスケッチフォルダ名→「a1234567_01_01」
- ▶ zipファイル名: **xyyyyyyyy_zz.zip**
 - x: 自分の青山メールの最初の文字
 - yyyyyyy: 自分の青山メールの2文字目以降の数字の並び
 - zz: 講義回
 - (例)青山メールのアドレスが「a1234567@aoyama.jp」の場合の第1回の提出zipファイル名→「a1234567_01.zip」

● 提出期限

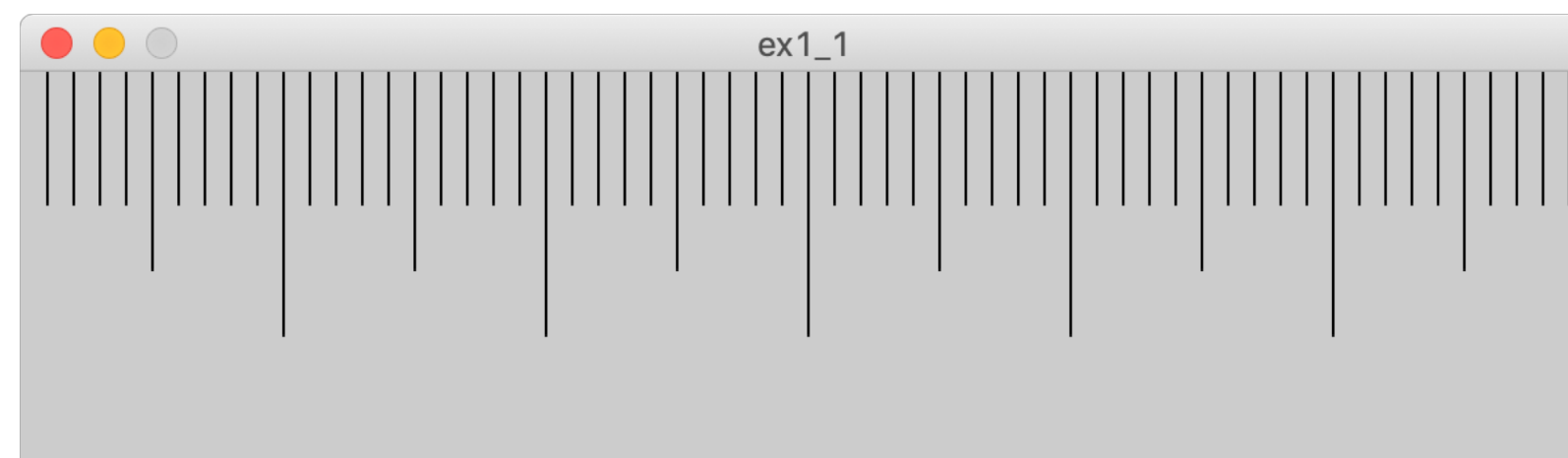
- ▶ 次回授業日0:00



課題1-1

xyyyyyyyy_01_01

- line()を用いて以下の静止画を作成せよ．ただし，次の条件を満たすこと
 - ▶ ウィンドウサイズ: 600×150
 - ▶ 3つの線の長さ: 50, 75, 100

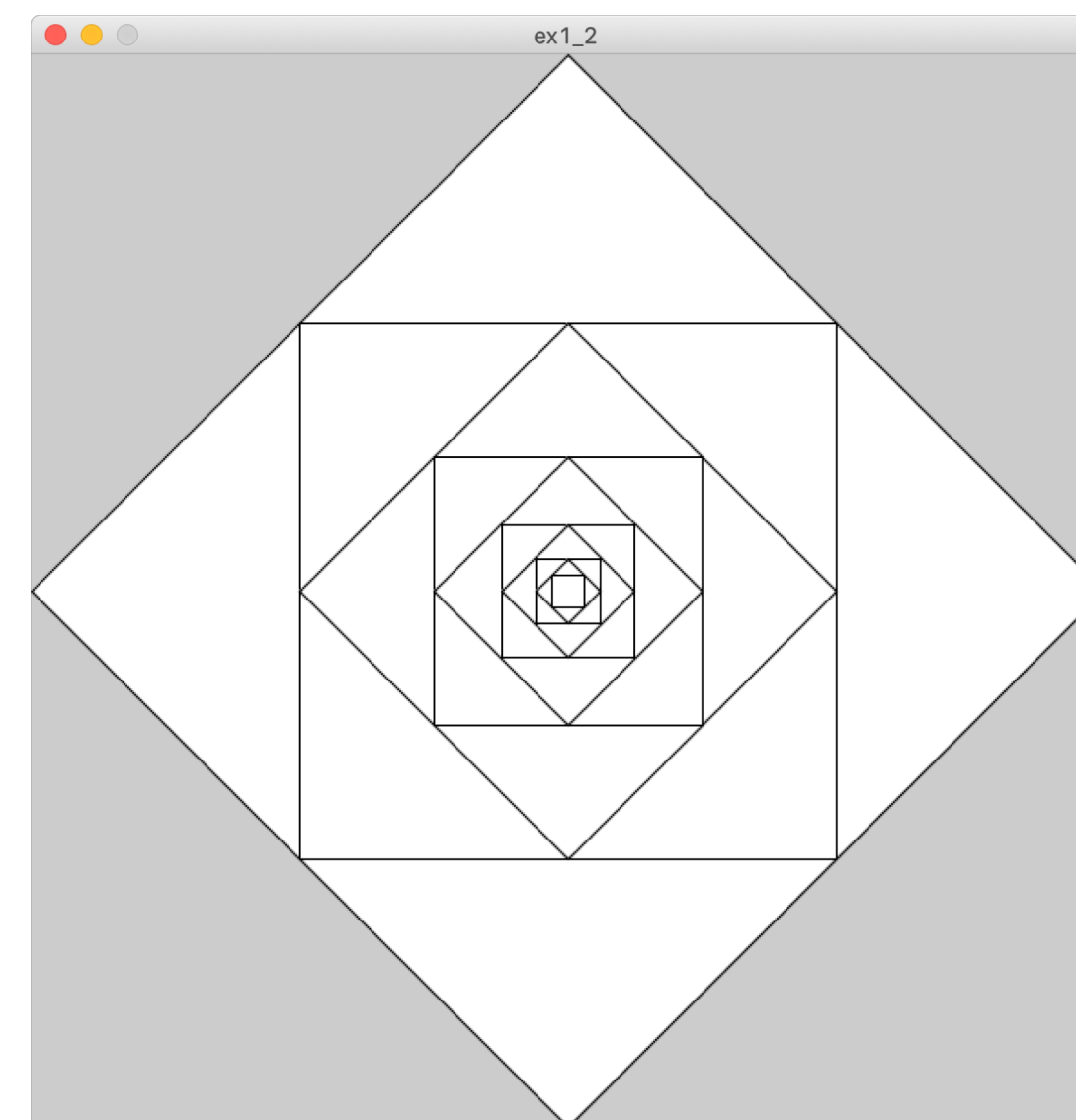




課題1-2

xyyyyyyyy_01_02

- quad()を用いて以下の静止画を作成せよ．ただし，次の条件を満たすこと
 - ▶ ウィンドウサイズ: 600×600
 - ▶ □と◇の数: 各々5





課題1-3

xyyyyyyyy_01_03

- `beginShape(QUAD_STRIP)`を用いて以下の静止画を作成せよ。ただし，次の条件を満たすこと

- ▶ ウィンドウサイズ: 500×500
- ▶ 中心から各線分の近い方の端点までの長さ: 100
- ▶ 中心角: 10°
- ▶ 極座標と直交座標の関係式を用いる
 - $x = r \cos \theta$
 - $y = r \sin \theta$

